



小型衛星「GRUS-3」の不具合ならびに 2027年5月期 通期業績予想の修正に関する 補足説明資料

株式会社アクセルスペースホールディングス

東京証券取引所 グロース市場(証券コード:402A)

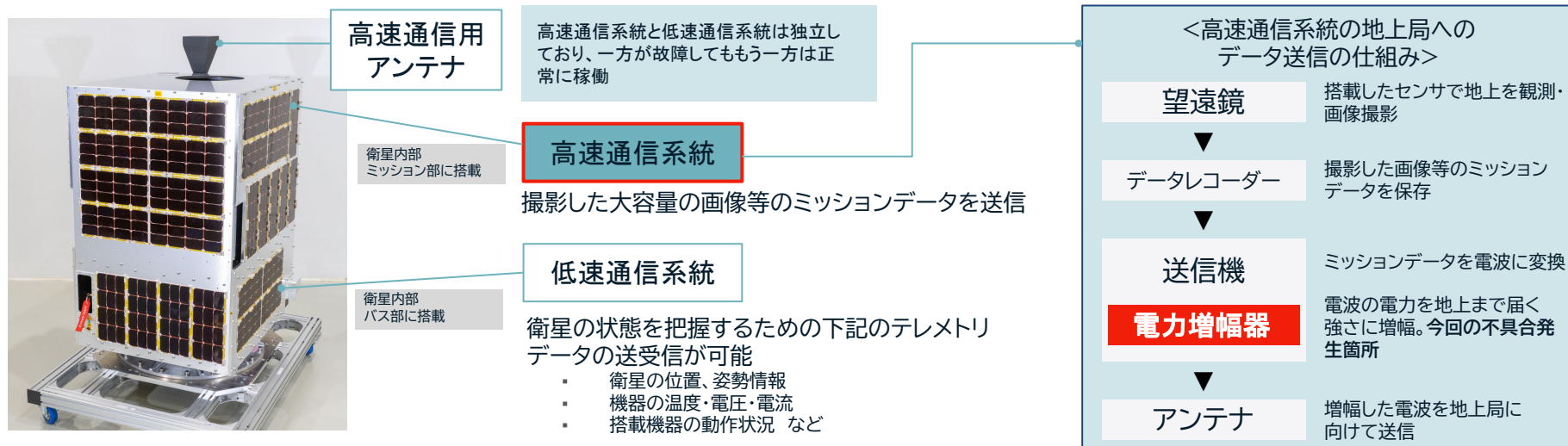
2026年10月6日

「GRUS-3」の不具合について

今回発生した不具合箇所について(2026年10月6日時点の推定)

画像を地上へ送信する高速通信系統の「電力増幅器」に不具合が発生。他の衛星機能は正常に作動

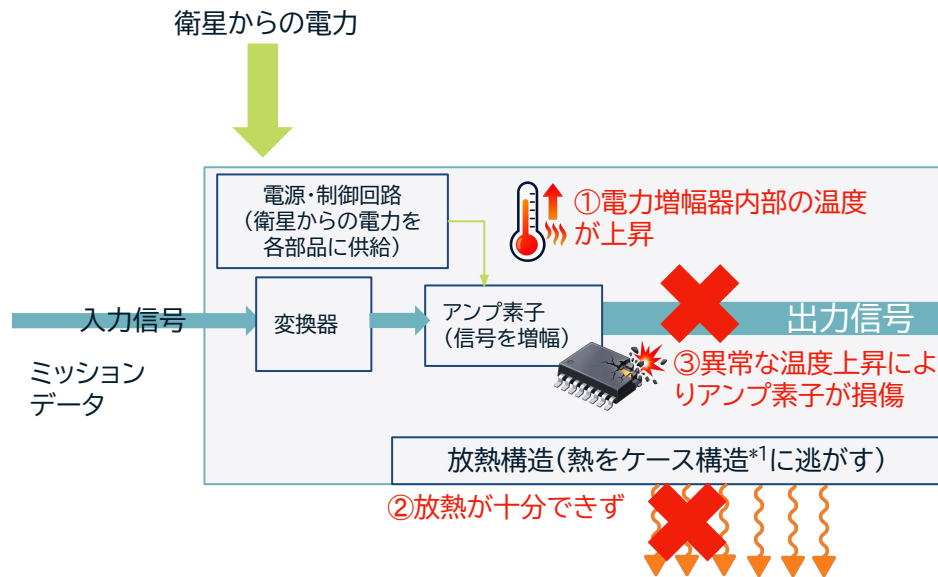
- GRUS-3には、高速通信系統と低速通信系統の2種類の通信系統を搭載
- 今回の不具合は、撮影した大容量の画像等のミッションデータを地上局へ送信する高速通信系統の「電力増幅器」で発生。当該機器は恒久故障と判断
- 電力増幅器は、宇宙から地上局までデータを届けるため、送信する電波を十分な強さまで増幅する部品



不具合の要因の推定

電力増幅機内において放熱が十分にできず、機器内部の温度が上昇し、アンプ素子が損傷したものと推定

電力増幅器の内部構造(模式図)



<推定されるアンプ素子損傷の経緯>

- ①電力増幅器内部の温度が上昇
- ②放熱構造の設計上の問題により、放熱が十分にできない状況となる
- ③異常な温度上昇によりアンプ素子が損傷
- ④電波の増幅ができず、大容量の画像等のミッションデータを高速通信系統で地上局に送信ができない状況に

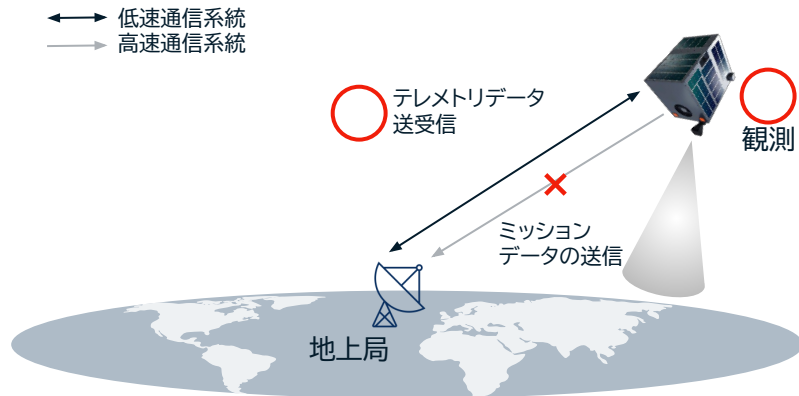


注: 画像は各機器のイメージです
*1 電力増幅器を保護・収納する「外殻(ケース)」

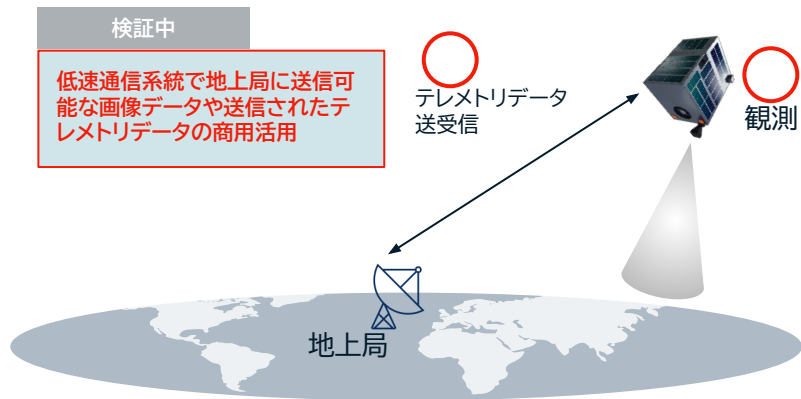
不具合が発生している衛星の商用活用可能性の検証について

- 高速通信系統以外の衛星機能は正常に作動しており、地表の撮影自体は可能
- 一方、高速通信系統の故障により、撮影した大容量の画像等のミッションデータを地上局へ送信することが困難
- 低速通信系統により取得可能な画像の提供可能性に関する検討や衛星から得られるテレメトリデータの活用などによる商用活用の実施などを検討

4機の不具合の状況(高速通信系統の故障)



商用活用の可能性を検証中



今後のスケジュール

- 不具合が確認された4機は、本日設置を決定した「GRUS-3不具合検証アドバイザリーボード」において、アクセルスペースが推定した不具合の原因及び今後打上げ予定の衛星に適用する対策の妥当性について評価を行う。11月末までに最終報告を取りまとめ、公表する予定
- 不具合が発生していない3機については、電力増幅器の消費電力を抑制するとともに、通信時間を短縮することで、宇宙空間の真空での電力増幅器の温度の上昇を防ぎながら、商用運用で実施するデータのダウンロードに取り組む。これらの運用を1機ごとに慎重に行っていく方針としたことから、商用運用開始を当初予定より2か月延期し、2027年2月を目標として、初期運用を継続

不具合が確認された4機の原因検証／報告スケジュール

期間(予定)	内容
2026年10月6日	「GRUS-3不具合検証アドバイザリーボード」を立ち上げを決定
10月中旬～11月中旬	推定した不具合の原因／今後打上げ予定の衛星に適用する対策の報告書を作成
11月末	本報告書を「GRUS-3不具合検証アドバイザリーボード」が評価した後、最終報告の作成、公表

不具合が発生していない3機の運用スケジュール(計画)

期間	内容
～2027年1月	初期運用の継続
2027年2月	商用運用開始(目標)

業績予想について

2027年5月期 通期業績予想(連結)

2027年5月期第1四半期において、GRUS-3の不具合に伴う減損損失1,879百万円を特別損失として計上

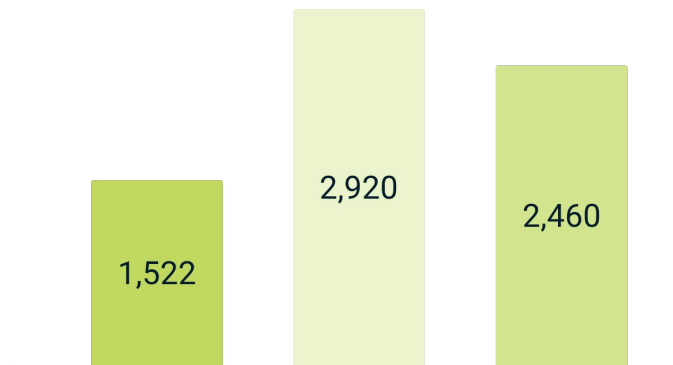
(単位:百万円) 項目	期別 2026年5月期 (実績)	2027年5月期 (前回発表予想)	2027年5月期 (修正予想)	前期比
売上高	2,508	9,000	6,700	+4,191
営業損失(△)	△3,822	△800	△2,300	+1,522
経常損失(△)	△3,712	△150	△1,700	+2,012
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△4,057	△240	△3,650	+407

総収入(Non-GAAP)*1	2,995	10,210	7,910	+4,914
-----------------	-------	--------	-------	--------

注: 業績予想の詳細に関しましては、2026年10月6日公表の「2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

*1: 総収入はNon-GAAP指標であり、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社が有用と考える財務指標です。政府系機関等からの補助金収入を売上高に加算して算出しております。

セグメント別業績予想:AxelLiner事業



【業績予想の主な修正理由】

売上高

- ・ 契約に関する協議を開始した「AxelLiner Laboratory」の案件について見積もられる最大の影響を織り込む

セグメント利益又は損失*1

- ・ 売上高減少に伴う売上総利益減少の影響を加味

(単位:百万円) 期別 項目	2026年5月期 (実績)	2027年5月期 (前回発表予想)*2	2027年5月期 (今回発表予想)*3	前期比
売上高	1,522	2,920	2,460	+61.6%
セグメント利益又は 損失(△)*1	△277	△770	△1,240	-

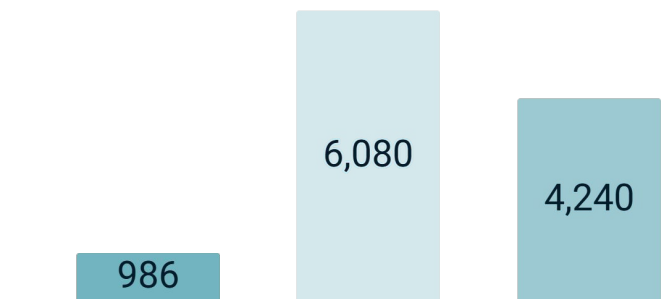
注: 業績予想の修正内容の詳細に関しましては、2026年10月6日公表の「2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

*1: 報告セグメントの利益又は損失は、経常損失ベースです。

*2: 2026年7月14日発表

*3: 2026年10月6日発表

セグメント別業績予想:AxelGlobe事業



【業績予想の主な修正理由】

売上高

- 「GRUS-3」の衛星の一部に不具合が発生したことから、AxelGlobe事業における画像提供が想定より遅れることを織り込む

セグメント利益又は損失*1

- 売上高減少に伴う売上総利益減少の影響を加味

(単位:百万円) 期別 項目	2026年5月期 (実績)	2027年5月期 (前回発表予想)*2	2027年5月期 (今回発表予想)*3	前期比
売上高	986	6,080	4,240	+329.97%
セグメント利益又は 損失(△)*1	△1,595	3,400	1,970	-

注: 業績予想の修正内容の詳細に関しましては、2026年10月6日公表の「2027年5月期 通期業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

*1: 報告セグメントの利益又は損失は、経常損失ベースです。

*2: 2026年7月14日発表

*3: 2026年10月6日発表

免責事項

本資料は、情報提供のみを目的として株式会社アクセルスペースホールディングス(以下「当社」といいます。)が作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関するご決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。万一これら情報の利用者が何らかの損害を被ったとしても、当社および当社の情報提供者は一切責任を負いません。

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる情報につき、その真実性、正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その真実性、正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。

本資料及びその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が、その他の目的で公開又は利用することはできません。将来の業績に関して本資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予想する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」又は「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に全面的に依拠することのないようご注意ください。

本資料に記載されている将来予想に関する記述と実際の結果との間に不一致をもたらす可能性のある要素については、EDINETに掲載されている当社の有価証券報告書にも記載されていますので、ご参照ください。

本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報及び第三者の作成に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、そのデータ・指標等の正確性・適切性等について、当社は独自の検証は行っておらず、何らその責任を負うことはできません。

AXELSPACE